PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

01-297956

(43)Date of publication of application: 01.12.1989

(51)Int.Cl.

HO4M 3/42 HO4L 11/20

(21)Application number: 63-128834

(71)Applicant: NEC CORP

(22)Date of filing:

25.05.1988

(72)Inventor: KINOSHITA TOSHIO

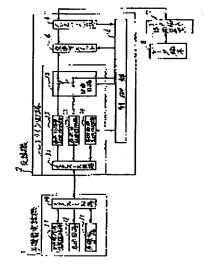
SASAKI KATSUYOSHI

(54) MESSAGE TRANSMISSION SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To attain the transmission of a message even without a data terminal equipment at the reception side by sending a message from the data terminal equipment to a multifunction telephone set and displaying the message at the multifunction telephone set.

CONSTITUTION: A call from a data terminal equipment 8 is inputted to a terminator 7, an interface 5 and a control section 6, a switch 4 connects the interface 5 to a line 3 through an instruction, the instruction is given to a transmission reception circuit 33 for display at the same time and a switching circuit 35 connects the switch 4 to the circuit 33. A display character from the data terminal equipment 8 is sent through the completion of a bus and a character is displayed on a display circuit 12 of the multifunction telephone set 1. The switching circuit 35 is in the normal state by a restoration signal of the data terminal equipment and the multifunction telephone set 1 is restored to the normal



state except the external message display. The displayed character is extinguished by a specific button of the telephone set 1.

19日本国特許庁(JP)

⑩ 特許 出願 公開

◎ 公開特許公報(A) 平1-297956

®Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成1年(1989)12月1日

H 04 M 3/42 H 04 L 11/20

103

J -7925-5K Z -7830-5K

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

4 発明の名称

メツセージ伝達方式

②特 顧 昭63-128834

②出 願 昭63(1988)5月25日

@発 明 者

木下

稔 雅

東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

700発明者

佐々木

勝義

岩手県一関市柄貝1番地 東北日本電気株式会社内

⑦出 願 人 日本電気株式会社⑥代 理 人 弁理士 内 原 晋

東京都港区芝5丁目33番1号

明細菌

発明の名称

メッセージ伝達方式

特許請求の範囲

発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明はメッセージ伝達方式に関し、特に複数のデータ端末間及び複数の多機能電話機間を接続する交換機を有して成るメッセージ伝達方式に関する。

〔従来の技術〕

従来、この種のメッセージ伝達方式は、データ 端末間相互によってのみにメッセージ伝達が行わ れていた。

(発明が解決しようとする課題)

上述した従来のメッセージ伝達方式では、データ掲末間相互によってのみメッセージ伝達が行われていたので、メッセージ受信例に多機能電話機があってもデータ端末が存在しない場及びデータ端末が使用不可能な場合には多機能電話機へメッセージ伝達が出来ないという欠点がある。

〔課題を解決するための手段〕

〔実施例〕

次に本発明について図面を参照して説明する。 第1図は本発明の一実施例を示すブロック図である。

第1図において、本実施例は多機能電話機1と、 交換機2と、データ端末終端装置7と、データ端 末8とを有して構成している。

多機能電話機1は音声用信号送受信回路11と、 メッセージ等を表示する表示回路12と、その他 の多機能回路13と、交換機2と接続するための インタフェース回路14とを有して構成している。

交換機2は多機能電話機1と接続するための多機能電話機用のライン回路3と、交換用スイッチ部4と、データ端末終端装置7とインタフェースするインタフェース回路5と、交換機2内を制御する制御部6とを有して構成している。

スイッチ部4に切換る切換回路35とを備えている。

次に本実施例の動作について説明する。

通常、切換回路35は音声用信号送受信回路3 2と交換用スイッチ回路4とを接続し、且つ表示用送受信回路33と制御部6とを接続して多機能電話機1は通常の動作を行っている。

特開平1-297956(3)

データ場末8の復旧により、データ場末終端装置で、インタフェース回路5を経由した復旧信号で切換回路35は通常状態となり、また多機能電話機16外部メッセージの表示を除いて通常状態に戻る。

尚、多機能電話機1に表示された文字は、多機能電話機1上の特定のボタン(図示省略)より消却させることができる。

この様に、データ増末8から多機能電話機1へ の発信により、データ増末8から多機能電話機1 へメッセージを伝達する事が出来る。

〔発明の効果〕

以上説明したように本発明は、データ増末から 多機能電話機へメッセージを伝達して多機能電話 機でメッセージと表示出来るようにすることによ り、メッセージの受信側にデータ端末がなくても データ端末利用者からのメッセージを多機能電話 機に送出して表示させることが出来る効果がある。

図面の簡単な説明

第1 図は本発明の一実施例を示すプロック図である。

1 … 多機能電話機、1 1 … 音声用信号送受信回路、1 2 … 表示回路、1 3 … 多機能回路、1 4 … インタフェース回路、2 … 交換機、3 … ライン回路、3 1 … インタフェース回路、3 2 … 音声用信号送受信回路、3 3 … 表示用送受信回路、3 4 … 多機能用送受信回路、3 5 … 切換回路、4 … 交換用スイッチ、5 … インタフェース回路、6 … 韧御部、7 … データ端末終端装置、8 … データ端末。

代理人 弁理士 内原



